

2018 年度 リサーチ・プロジェクト担当教員・担当クラス

氏名	研究テーマ	担当クラス
久保田 崇	行政学、地方自治、災害復興政策	UB/UC
藤井 慎介	日本の政治経済の比較分析	UB
松本 睦	租税競争・地域間財政競争	UA
森 道哉	戦後日本の環境政治の比較事例分析	UA/UC
倉田 玲 (後期のみ)	禁錮以上の刑に処せられた者の選挙権	UB
宇ノ木 建太	市民社会論、戦後日本の地方公共政策	UA
荻谷 千尋	政治思想史、国際政治思想史	UC
竹本 信介 (後期のみ)	戦後日本外交の政官関係・現代外交の変容に関する理論的検討	UB
加茂 利男	グローバル化時代の都市ガバナンス、現代の地方自治制度改革	UA
水口 憲人	現代行政理論、都市の政治経済学	UB
村山 皓	地域振興の政策文化と行政システム	UC

さらに詳しい情報は、「立命館大学研究者学術情報データベース」をご覧ください。

<http://research-db.ritsumei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

◆2017年度在学生の研究テーマの例

無形民族文化財保護の推移と現状

避難行動の在り方-東日本大震災の教訓

総合型地域スポーツクラブに問われる「地域」という論点

「構造災」から捉える災害研究-災害研究の今日的課題について-

日本における性的マイノリティの社会的困難に対する支援の現状-制度保障と意識改革に着目して-

景観まちづくりからみる住民参加の課題-京都市「地域景観づくり協議会制度」に着目して-

駅周辺地区の構成要素を考える-京阪電気鉄道沿線を事例にして-

地域社会における再生可能エネルギー活用の展望-「維持(持続)可能な発展」と「地域づくり」という2つのキーワードに注目して-

改正刑事訴訟法に関する政策の立案過程の考察

地域ブランドの視点から地方創成に向けて-一村一品運動に注目して-

地域通貨研究における論点と課題-シルビオ・ゲゼル理論を手がかりに-

埋葬に対する意識の変容

徳島県神山町における行政と民間の関係-NPO法人グリーンバレーの取り組みに注目して-

いじめ事件における情報共有はなぜなされないのか-大津市いじめ事件の第三者委員会の報告書を手掛かりに-

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の背景と交通政策担当者の当事者意識についての考察

国民の代理人としてのオンブズマンの役割に関する考察

広域行政における総務省の「学習」とは-定住自立圏構想に着目して-

ふるさと納税の研究-返礼品競争を超えて-

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)」の制定及び改正経緯における研究-保護命令と加害者プログラムに着目して-